

資料番号④

新庁舎建設広場整備建築工事

競争入札参加資格設定説明資料

入 札 方 法		条件付一般競争入札（電子入札）
競争入札参加資格設定方法等	工 事 名	新庁舎建設広場整備建築工事 (令和6年6月26日入札分)
	工 事 場 所	唐津市西城内地内
	工 事 概 要	1 土工事 一式 2 舗装工事 一式 3 排水工事 一式 4 植栽基盤工事 一式 5 雑工作物工事 一式 6 歩廊工事 一式
	業 種	建築一式工事
	予 定 価 格 (税抜)	119,320,000円
	最低制限価格(税抜)	109,774,000円(事後公表)
	競争入札参加資格設定の考え方	1 建築一式工事に係る入札参加資格の格付けがA級であること。 2 唐津市内に本店があり、かつ、入札参加資格について、当該本店での登録を受けていること。 3 建築一式工事について、当該開札日前10年間に、市又は国若しくは他の地方公共団体と契約金額が2,500万円以上の契約を元請として締結し、かつ、これを誠実に履行した実績を有すること。
入札の経緯及び結果	入 札 期 間	令和6年6月20日から令和6年6月25日まで
	応 募 者 数	1者
	失格者及びその理由	なし
	入札参加者数	1者
	開 札 日	令和6年6月26日
	入 札 回 数	1回
	契 約 日	令和6年7月2日
	契約業者名	(株)太田工務店
	契約金額(税抜)	119,200,000円
	落 札 率	99.90%
備考 当初工期		令和6年7月2日～令和7年1月22日

第2号様式（第7条関係）

入札内容成績表

工事（業務）の名称	唐都建工第36号 新庁舎建設広場整備建築工事
入札方式	条件付一般競争入札（電子入札）
工事（業務）場所	唐津市 西城内 地内
契約期間	請負契約締結の日から 令和7年1月22日 まで
入札執行課名	契約管理課
入札日	令和6年6月26日（水） （開札日）
予定価格（税抜）	¥119,320,000.-
最低制限価格（税抜）又は 低入札調査基準価格（税抜）	¥109,774,000.-

指名した者の商号又は名称 （入札者）	入札金額（千円）			備考
	第1回	第2回	第3回	
(株)太田工務店	119,200	落札		

（注）上記金額に100分の10に相当する額を加算した金額が、唐津市財務規則上の申込みに係る価格である。

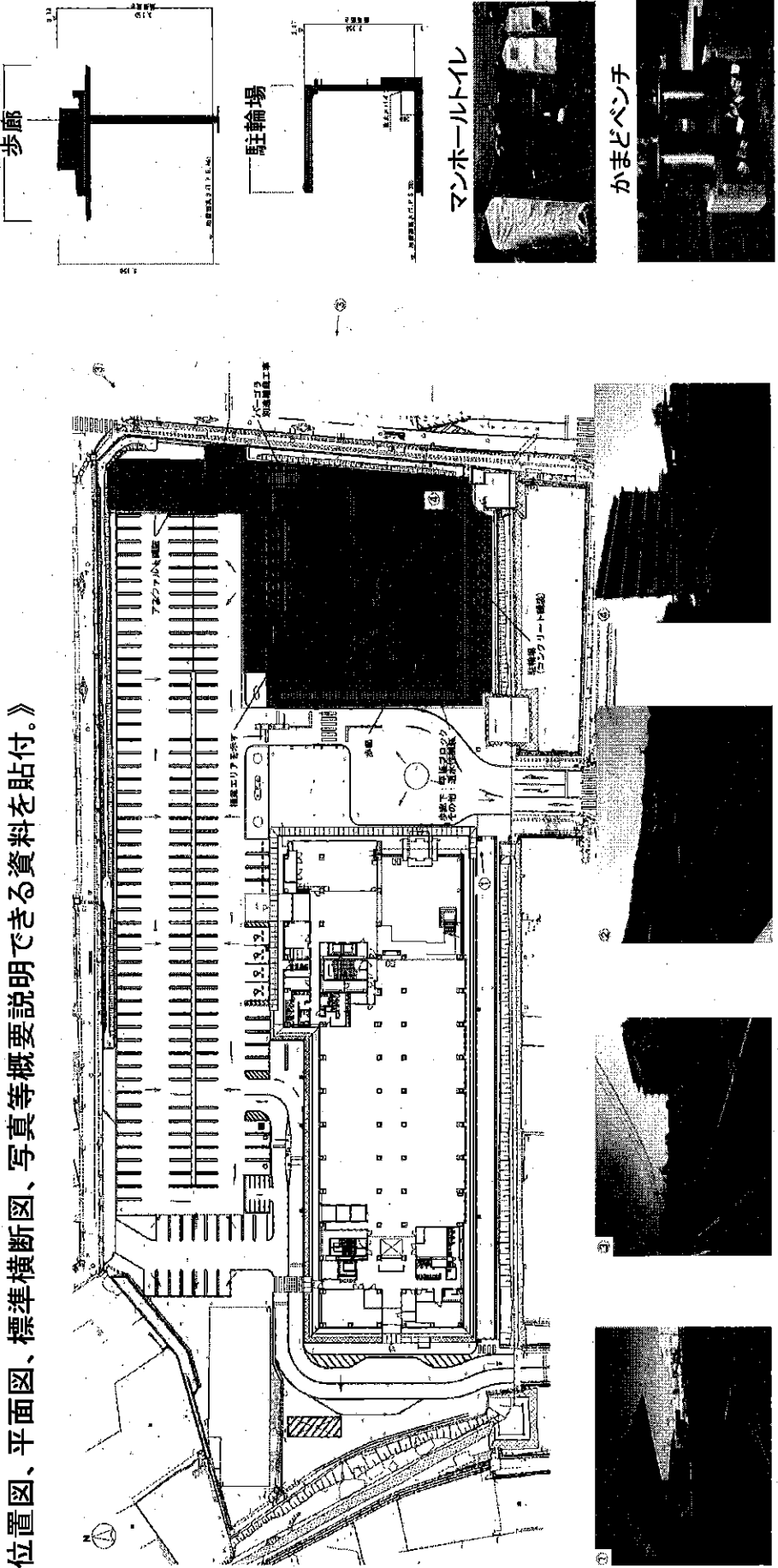
（指名理由）
--

工事説明表

発注課： 建築住宅課

工事名	唐都建工第36号 新庁舎建設広場整備建築工事	
施工場所	唐津市 西城内 地内	
工事説明	【工事概要】 新庁舎建設に伴う東側広場の整備を実施するもの	
	【構造・規模】 新庁舎：鉄骨造7階建て(免震構造) 延べ面積17,677.08㎡ 敷地面積15,952.34㎡	
	【工事内容】 ○ 土木工事 1式 ○ 舗装工事 A=503㎡ ○ 排水工事(U型側溝)L=130.2m ○ 植栽基盤工事A=1,431㎡	
	○ 防災対策工事 かまどべんち7台、マンホールトイレ6基 ○ 雑工作物(駐輪場50台用) 1箇所	
	○ 屋根付歩廊工事 L=81.45m 鉄骨亜鉛メッキ処理+SOP塗装、屋根：ガルバリウム鋼板フッ素樹脂塗装・幕板天板：アルミパネル	

《位置図、平面図、標準横断面図、写真等概要説明できる資料を貼付。》



選定理由への回答書

工事（業務）名	唐都建工第36号 新庁舎建設広場整備建築工事
選 定 委 員	河野委員
選 定 理 由	高額案件で、1社応札にすぎないため。
回 答 文	●入札状況について 本工事の入札に参加できる主な要件は、①建築一式工事に係る入札参加資格の格付けがA級であること、②唐津市内に本店があることであった。 これにより5者が入札参加可能であったが、1者が入札に応じたものである。 予定価格（税抜き）1億1,932万円に対して、1億1,920万円で入札している。落札率は、99.90%である。 ●1社応札について 本工事は、令和6年6月3日に入札執行を公告し、6月26日に開札している。 本工事と同じ、A級業者が入札参加できる設計価格の建築一式工事については、今年度、本工事の開札までに、本工事を含めて以下の3工事を発注している。 資料1 建設工事発注一覧表（条件付一般競争入札） 55番 相知市民センター別館移転ほか改修建築工事 （※資料番号③の工事である。） 129番 成和公民館エレベーター設置工事 130番 新庁舎建設広場整備建築工事 （※本工事である。）

	これらの発注工事と手持ち工事の進捗等、また配置する技術者を含め、当該工事の内容を検討した結果、1者応札となったのではないかと推察する。
--	--

資料番号⑤

5 年災第 4 3 6 号
市道滝川桑原杉山線道路災害復旧工事
ほか 1 工事

競争入札参加資格設定説明資料

入 札 方 法		条件付一般競争入札（電子入札）
競争入札参加資格設定方法等	工 事 名	5年災第436号 市道滝川桑原杉山線道路災害復旧工事ほか1工事 (令和6年6月11日入札分)
	工 事 場 所	唐津市七山滝川地内
	工 事 概 要	1 5年災第436号 施工延長 1工区 L=18.2m、2工区 L=5.4m、 3工区 L=11.4m ア 現場吹付法砕工（植生基材吹付 t=3cm） A=314m² イ 植生工 A=349m² ウ 工事用道路 L=34.0m 2 5年災第437号 施工延長 1工区 L=38.5m、2工区 L=10.0m ア 現場吹付法砕工（植生基材吹付 t=3cm） A=201m² イ 植生工 A=101m² ウ アスファルト舗装工 A=24m² エ アスカーブ L=37.4m オ 防護柵工（ガードレール） L=28.0m
	業 種	土木一式工事
	予 定 価 格（税抜）	49,620,000円
	最低制限価格（税抜）	44,624,000円
	競争入札参加資格設定の考え方	1 土木一式工事に係る入札参加資格の格付けが特A級又はA級であること。 2 唐津市内に本店があり、かつ、入札参加資格について、当該本店での登録を受けていること。 3 土木一式工事について、当該開札日前10年間に、市又は国若しくは他の地方公共団体と契約金額が1,500万円以上の契約を元請として締結し、かつ、これを誠実に履行した実績を有すること。

入札の経緯及び結果	入札期間	令和6年6月5日から令和6年6月10日まで
	応募者数	1者
	失格者及びその理由	なし
	入札参加者数	1者
	開札日	令和6年6月11日
	入札回数	1回
	契約日	令和6年6月18日
	契約業者名	日本建設技術(株)
	契約金額(税抜)	49,600,000円
	落札率	99.96%
備考 当初工期 令和6年6月18日～令和7年1月27日(余裕期間あり※)		

※実工期は、工事の始期(令和6年9月3日までに工事の始期を設定)から210日間

第2号様式（第7条関係）

入札内容成績表

工事（業務）の名称	唐維災工第3056号 5年災第436号 市道滝川桑原杉山線道路災害復旧工事ほか1工事
入札方式	条件付一般競争入札（電子入札）
工事（業務）場所	唐津市 七山滝川 地内
契約期間	請負契約締結の日から 令和7年3月31日 まで
入札執行課名	契約管理課
入札日	令和6年6月11日（火） （開札日）
予定価格（税抜）	¥49,620,000.-
最低制限価格（税抜）又は低入札調査基準価格（税抜）	¥44,624,000.-

指名した者の商号又は名称 （入札者）	入札金額（千円）			備考
	第1回	第2回	第3回	
日本建設技術(株)	49,600	落札		

（注）上記金額に100分の10に相当する額を加算した金額が、唐津市財務規則上の申込みに係る価格である。

（指名理由）
--

工事説明表

発注課: 道路維持課

工事名	唐維災工第3056号 5年災第436号 市道滝川桑原杉山線道路災害復旧工事ほか1工事	
施工場所	唐津市 七山滝川 地内	
工事説明	令和5年7月発生の豪雨により、市道法面が崩壊したため、復旧工事を行うもの。	
	施工延長	L=83.5m(第436号L=35.0m、第437号L=48.5m)
	現場吹付法砕(枠内植生基材吹付)ι=3cm	A=515㎡ 植生工 A=450㎡
	アスファルト舗装工	A=24㎡ アスカーブ L=37.4m
	防護柵工(ガードレール)	L=28.0m 工事用道路 L=34.0m

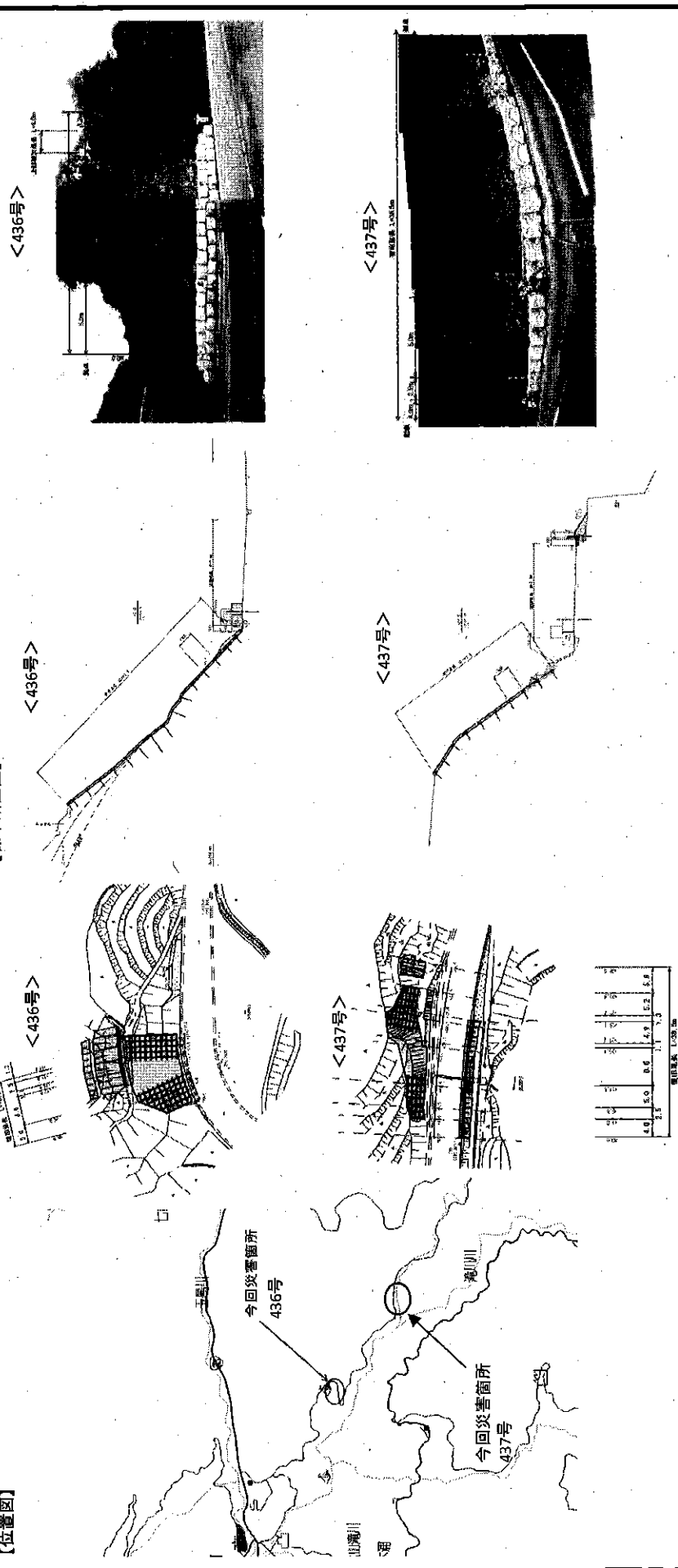
《位置図、平面図、標準横断面図、写真等概要説明できる資料を貼付。》

【位置図】

【平面図】

【標準断面図】

【写真】



選定理由への回答書

工事（業務）名	5年災第436号 市道滝川桑原杉山線道路災害復旧工事ほか1工事
選 定 委 員	帯屋委員
選 定 理 由	本件を含め、今回の災害復旧工事はどれも、1社入札で高落札率となっている。競争が成立していない。不落はあったのか。
回 答 文	●今回の災害復旧工事の応札状況 資料1のとおり、多くの災害復旧工事を発注しているが、本工事は次のようなものであり、これと同等の工事は、本工事を含め7件存在する。 ・工種が土木一式工事 ・令和5年度発生の災害復旧を行う工事 ・条件付一般競争入札によって落札者を決定 ・予定価格（税抜き）3,000万円以上 （※唐津市建設工事等請負契約に係る指名基準等要領 別表第2により、土木一式工事A級以上が参加可能） これらの工事7件は、次のとおりである。 資料1 建設工事発注一覧表（条件付一般競争入札） 54番 林道陣の山線1号災害復旧工事他3工事 56番 5年災第479号 市道野郭平野岳線道路災害復旧工事ほか1工事 87番 5年災第610号 市道戸房上戸房線道路災害復旧工事ほか2工事 88番 5年災第751号 市道滝川松坂線道路災害復旧工事ほか1工事 89番 5年災第355号 市道古瀬2号線道路災害復旧工事ほか2工事 111番（本工事） 5年災第436号 市道滝川桑原杉山線道路災害復旧工事ほか1工事 112番 5年災第455号 市道中原境野鳥巢線道路災害復旧工事

	上記7件は、いずれも1者入札である。 また、落札率についても、いずれも99%台となっている。 次に、上記7件の工事場所と落札した業者の会社所在地について見ると、例えば相知が工事場所である工事を相知の業者が応札というように、工事場所と会社所在地が同じ地区であるものが3件あった。 それ以外のものについてだが、上記7件はいずれも、いわゆる下場地区（浜玉、七山、厳木、相知、北波多）であり、下場地区内の業者が応札している。 したがって、事務所から近い、又は以前工事した土地であるなど、工事場所を熟知している業者が、受注する意欲を持ち入札に参加しているためこのような結果になったものと推察する。 ●不落状況について 上記7件の工事と同等の工事は、今回の委員会の審議対象期間（令和6年1月から7月まで）に開札日があるものだと、15件発注している。うち7件落札し、契約済みである。（上記の工事。資料1に記載） 残り8件は応札なしであり、53.33%が入札不調となっている。 なお、高額案件のため、入札不調後に、入札に参加可能だった業者のうち数社に対して、応札しなかった理由の聴き取りを行った。その理由は、「人手不足で現場代理人・技術者・作業員がいない」「下請を確保できない」「手持ちの工事が多い」「佐賀県（土木事務所）の工事の受注も多い」であった。
--	---

資料番号⑥

市道千々賀石志線改良工事

競争入札参加資格設定説明資料

入 札 方 法		条件付一般競争入札（電子入札）
競争入札参加資格設定方法等	工 事 名	市道千々賀石志線改良工事 (令和6年7月9日入札分)
	工 事 場 所	唐津市石志地内
	工 事 概 要	施工延長 L = 260.0m (1) 道路土工 一式 (2) 擁壁工 ア 小型擁壁 V = 0.9m ³ イ L型擁壁 L = 16.0m (3) 排水構造物工 ア 側溝工 L = 184.1m イ 管きよ工 L = 31.1m (4) 構造物撤去工 一式 (5) 舗装工 ア 車道 A = 2,549m ² イ 歩道 A = 312m ² ウ 取付部 A = 19m ² (6) 縁石工 ア 歩車道境界ブロック L = 176.0m イ 地先境界ブロック L = 130.0m (7) 防護柵工 ア ガードパイプ L = 6.0m イ 転落防止柵 L = 18.9m (8) 区画線工 一式
	業 種	土木一式工事
	予 定 価 格 (税抜)	61,990,000円
	最低制限価格 (税抜)	56,028,000円 (事後公表)
	競争入札参加資格設定の考え方	1 土木一式工事に係る入札参加資格の格付けが特A級又はA級であること。 2 唐津市内に本店があり、かつ、入札参加資格について、当該本店での登録を受けていること。 3 土木一式工事について、当該開札日前10年間に、市又は国若しくは他の地方公共団体と契約金額が1,500万円以上の契約を元請として締結し、かつ、これを誠実に履行した実績を有すること。

入札の経緯及び結果	入 札 期 間	令和6年7月3日から令和6年7月8日まで
	応 募 者 数	2 者
	失格者及びその理由	なし
	入札参加者数	2 者
	開 札 日	令和6年7月9日
	入 札 回 数	1 回
	契 約 日	令和6年7月17日
	契約業者名	平野建設産業(株)
	契約金額(税抜)	56,028,000円
	落 札 率	90.38%
備考 当初工期 令和6年7月17日～令和7年3月14日		

第2号様式（第7条関係）

入札内容成績表

工事（業務）の名称	唐道整工第1号 市道千々賀石志線改良工事
入札方式	条件付一般競争入札（電子入札）
工事（業務）場所	唐津市 石志 地内
契約期間	請負契約締結の日から 令和7年3月14日 まで
入札執行課名	契約管理課
入札日	令和6年7月9日（火） （開札日）
予定価格（税抜）	¥61,990,000.-
最低制限価格（税抜）又は低入札調査基準価格（税抜）	¥56,028,000.-

[illegible]

(注) 上記金額に100分の10に相当する額を加算した金額が、唐津市財務規則上の申込みに係る価格である。

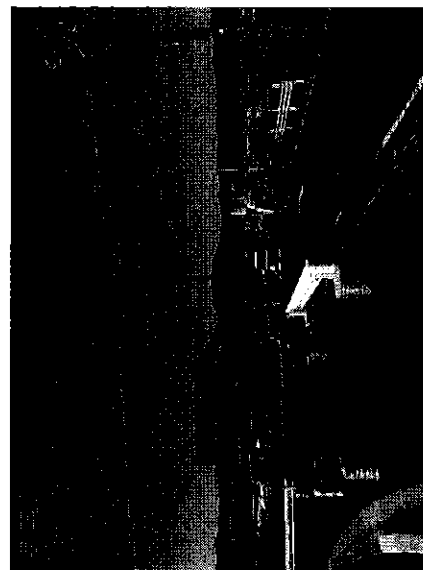
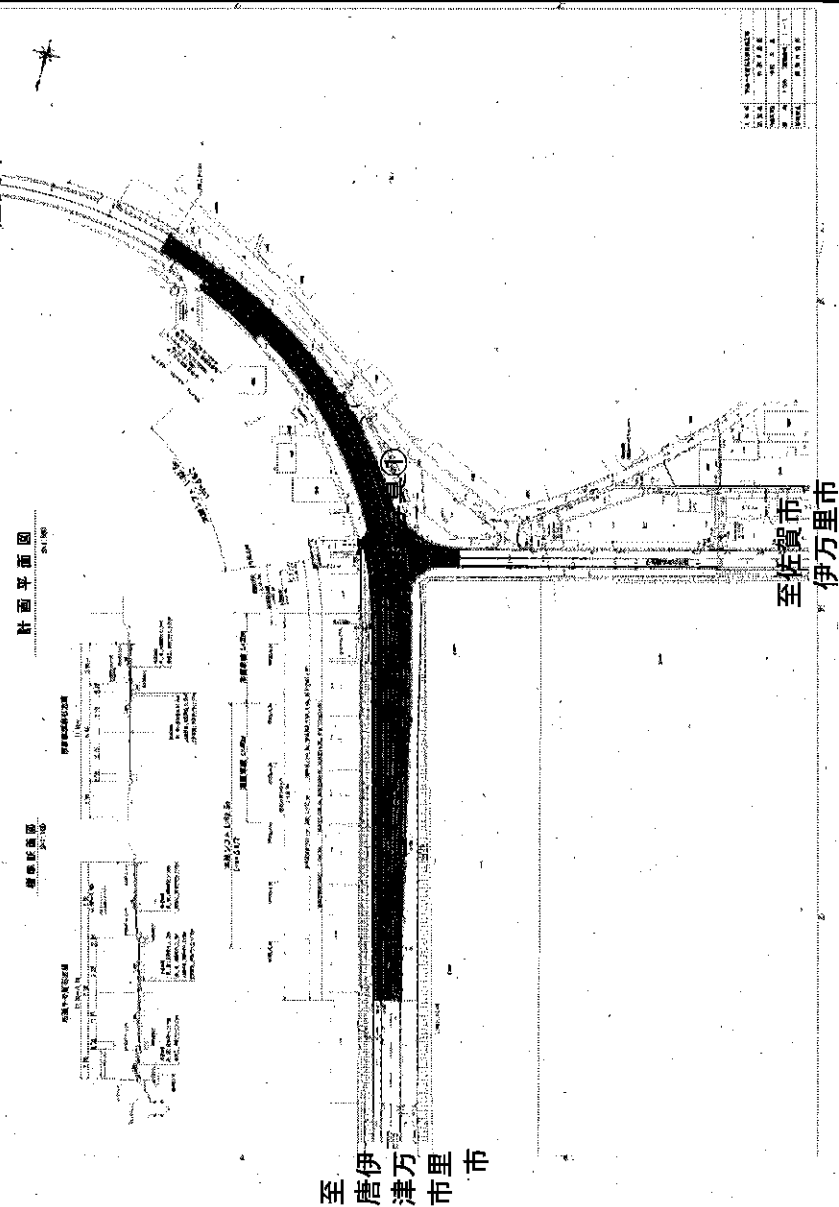
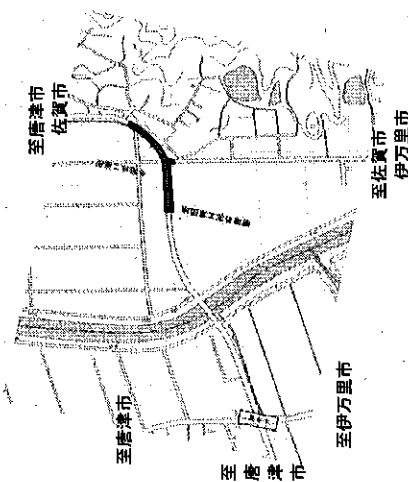
(指名理由)

工事説明表

発注課： 道路整備課

工事名	唐道整工第1号 市道千々賀石志線改良工事	
施工場所	唐津市 石志 地内	
工事説明	本路線は、西九州道路千々賀・山田インターから、石志工業団地を結び、周辺には、誘致企業が立ち並び唐津市の産業の核である工業団地の一角をになう重要な幹線道路である。近年の企業進出に伴う大型車両往來の増加により、路線の交差点容量が不足し、反対車線にまたがる右左折が生じるなど、安全な通行に支障をきたしている。また、交差点前後の視距の確保も困難であることから、道路改良及び右折専用車線を設ける交差点改良を行うことで、安全で、円滑な交通の確保を担うもの。	

《位置図、平面図、標準横断面図、写真等概要説明できる資料を貼付。》



選定理由への回答書

工事（業務）名	市道千々賀石志線改良工事
選 定 委 員	宗委員
選 定 理 由	落札率が他より低いため入札状況を知りたい。
回 答 文	●入札状況 本工事の入札に参加できる主な要件は、①土木一式工事に係る入札参加資格の格付けが特A級又はA級であること、②唐津市内に本店があることであった。 これにより16者に入札参加資格があったが、そのうちの2者が入札に応じたものである。 予定価格（税抜き）6,199万円に対して、落札した方の業者は最低制限価格と同額の5,602万8,000円で入札し、落札しなかった方の業者は6,190万円で入札している。 落札率は、90.38%である。 ●低い落札率について 本工事の落札額5,602万8,000円は、最低制限価格と同額であるが、最低制限価格は、原則予定価格の4,000万円（税込み）以上の工事に設定され、令和6年4月1日からは事後公表としている。（昨年度までは原則事前公表、一部事後公表であった。） そのため、最低制限価格を、受注意欲を持って見積り、本工事へ入札しているものであり、その結果、落札率が他よりも低くなっているものであると考えられる。

競争入札参加資格設定説明資料

入 札 方 法		指名競争入札（電子入札）
競争入札参加資格設定方法等	業 務 名	市道虹の松原宇木線（落合橋）ほか6橋橋梁定期点検業務 （令和6年7月12日入札分）
	業 務 場 所	唐津市鏡ほか地内
	業 務 概 要	橋梁点検 N=7 橋
	業 種	土木関係建設コンサルタント（鋼構造及びコンクリート）
	予 定 価 格（税抜）	2, 9 5 0, 0 0 0 円
	最低制限価格（税抜）	設定なし
	指名業者選定理由	市内に本店又は支店・営業所（支店・営業所は県内に本店）がある土木コンサル（鋼構造及びコンクリート）A級の16者を指名
入札の経緯及び結果	入 札 期 間	令和6年7月9日から令和6年7月11日まで
	指 名 者 数	16者
	入札辞退	なし
	入札失格	なし
	入札参加者数	16者
	開 札 日	令和6年7月12日
	入 札 回 数	1回
	契 約 日	令和6年7月18日
	契約業者名	筒井測量設計(株)
	契約金額（税抜）	2, 2 9 0, 0 0 0 円
	落 札 率	77.63%
備考 当初工期		令和6年7月18日～令和6年11月29日

資料番号⑦

市道虹の松原宇木線（落合橋）
ほか 6 橋橋梁定期点検業務

入札内容成績表

工事（業務）の名称	唐整橋委第108号 市道虹の松原宇木線（落合橋）ほか6橋橋梁定期点検業務
入札方式	指名競争入札（電子入札）
工事（業務）場所	唐津市 鏡ほか 地内
契約期間	請負契約締結の日から 令和 6年11月29日 まで
入札執行課名	契約管理課
入札日	令和 6年 7月12日（金）
予定価格（税抜）	¥2,950,000.-
最低制限価格	なし

指名した者の商号又は名称 （入札者）	入札金額（千円）			備考
	第1回	第2回	第3回	
（株）有明エンジニアリング唐津支店	2,950			
（株）エスジー技術コンサルタント唐津支店	2,950			
九州技術開発（株）唐津支店	2,950			
（株）九州構造設計唐津支店	2,950			
九州水工設計（株）唐津支店	2,650			
国際技術コンサルタント（株）唐津支店	2,950			
（株）コスモエンジニアリング唐津支店	2,950			
（株）新英コアテクニカ唐津支店	2,900			
新栄地研（株）唐津支店	2,950			
（株）親和コンサルタント唐津営業所	2,900			
精工C&C（株）	2,660			
筒井測量設計（株）	2,290	落札		
（株）テックコンサルタント	2,950			
（株）トップコンサルタント唐津支店	2,900			
西日本総合コンサルタント（株）唐津支店	2,450			
日本建設技術（株）	2,950			

（注） 上記金額に100分の10に相当する額を加算した金額が、唐津市財務規則上の申込みに係る価格である。

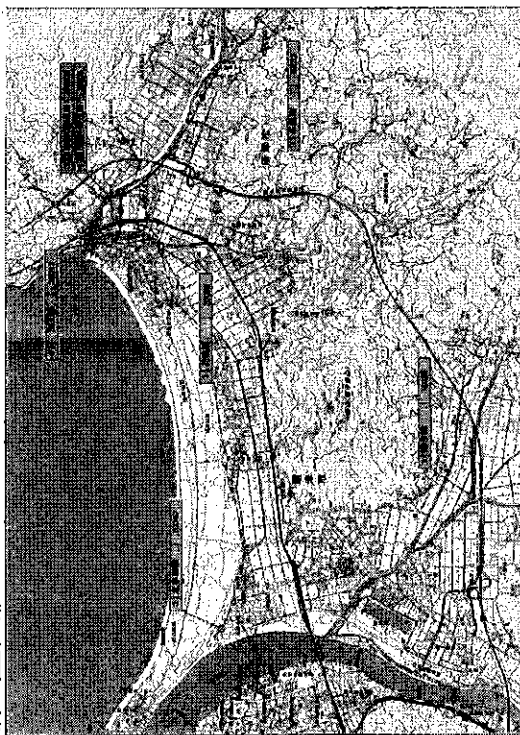
（指名理由）

工事(業務)説明表

発注課：道路整備課

業務名	唐整橋委第108号 市道虹の松原宇木線(落合橋)ほか6橋橋梁定期点検業務
施工場所	唐津市 鏡ほか 地内
業務説明	市道橋梁を常時良好な状態に保つために、橋の状態を確認するため各橋5年に1度点検を実施している。今回は唐津、浜玉地区の橋梁7橋の点検を実施するもの。 今回の点検結果をもとに予防保全的な修繕を実施することにより、橋梁の長寿命化及び橋梁の修繕に係る費用の縮減を図るもの。

《位置图》



橋梁点検車での点検状況



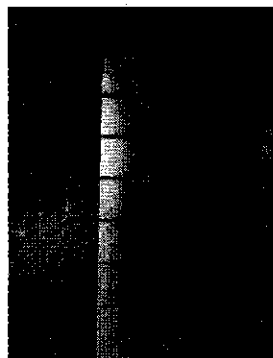
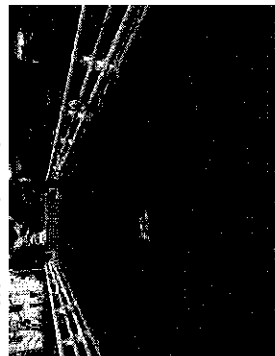
桁下ひびわれ状況



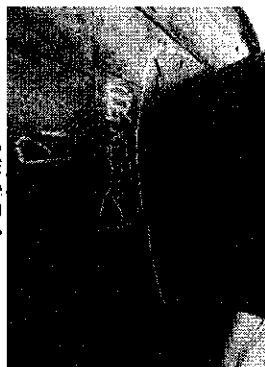
桁下ひびわれ測定状況



路面ひびわれ状況



つき状況



剥離鉄筋露出状況



漏水狀況

[illegible]

選定理由への回答書

工事（業務）名	市道虹の松原宇木線（落合橋）ほか6橋橋梁定期点検業務
選 定 委 員	木下委員
選 定 理 由	16社の入札状況。77.63%。
回 答 文	●16者の入札状況について 本業務は、次の要件を満たす16者を指名している。 ・土木関係建設コンサルタントの鋼構造物及びコンクリートに係る入札参加資格の格付がA級であること。 ・唐津市内に本店又は支店、営業所があること。ただし、支店、営業所の場合は、その本店が佐賀県内にあること。 入札結果については、辞退した者はおらず、16者すべてが応札した。入札金額は成績表のとおりである。 ●落札率について 資料1 建設工事に伴う業務委託発注一覧表のとおり、建設工事に伴う業務は、落札率が低いものも高いものもあり、建設工事のように、ほとんどが90パーセント台の高い落札率というわけではない。資料1記載の業務38件中、90パーセント以上が23件、80パーセント台が6件、それより低いものが9件となっている。 本業務で落札率が低い原因は断定できないものの、本業務の対象である橋梁が浜玉地区に多く、落札者（77.63%）、次順位者（83.05%で入札）ともに、業務場所に近いところに事務所をおく業者であり、経費の削減が図られやすかったのが、低い落札率の一因ではないかと考えられる。

資料番号⑧

唐津市名護屋城茶苑「海月」
呈茶もてなし業務

唐津市名護屋城茶苑「海月」呈茶もてなし業務

1 目 的

唐津市名護屋城茶苑「海月」において、来苑者が気軽に茶の湯の歴史、伝統及び文化に触れ親しみ、茶の湯の魅力を実感する機会の充実を図り、もって集客の増加並びに地域活性化に資することを目的として、おもてなしの呈茶と茶の湯体験等を実施する。

2 業務概要

- (1) 呈茶の提供に関すること
- (2) 茶の湯体験等の実施に関すること

3 委託期間

契約締結日から令和7年3月31日まで

4 予定経費

¥4,290,000.-

(消費税及び地方消費税相当額¥390,000-)

5 契約金額

¥4,280,000.-

(消費税及び地方消費税相当額¥0.-)

6 プロポーザル参加業者

太閤お茶の会

7 参加業者選定の理由

プロポーザル手続きの開始について公告し、期限までに応募があった事業者が参加資格を満たしていたため、技術提案についてのプレゼンテーションを行い、選定委員会による審査結果に基づき、最優秀者を選定したもの。

8 契約業者選定の詳細の内容

参加条件に基づき、参加表明書の確認を行った。

本業務実施要領では、応募者が5者以内の場合は、一次審査を省略することとしていたため、応募者が1者であったことから一次審査を省略し、技術提案書等の提出要請を行った。

本業務は、唐津市鎮西町の観光施設である名護屋城茶苑「海月」において、速やかに呈茶の提供を行う本業務の実施が必要であったことから、実施要領において、参加者が1者の場合でも、本プロポーザルは成立するものとした。

二次審査については、以下の提案を求めた

- ・本事業に対する取り組み姿勢及び実施体制について、
- ・呈茶及び茶の湯体験の具体的な取り組み
- ・運営シミュレーションプラン（人員配置など含む）
- ・その他、本事業の特性を踏まえた展開アイデア

前述の技術提案について、業務の実施体制、本事業に取り組む基本姿勢、提案の確性・現実性の3項目から評価を行った。

唐津市名護屋城茶苑「海月」呈茶もてなし業務プロポーザル審査委員会を設置し、6名の審査委員で評価を行った。

採点は、評点方式とし、得点は321点で、選定条件である最低基準点（305点）以上の点数を得たため、最優秀者を選定した。

選定理由への回答書

工事（業務）名	唐津市名護屋城茶苑「海月」呈茶もてなし業務
選 定 委 員	赤星委員
選 定 理 由	プロポーザルの応募状況と審査（評価）の過程を知りたい。
回 答 文	●プロポーザルの応募状況について 一次審査 1者 二次審査 1者 実施要領において、参加者が1者の場合でも、本プロポーザルは成立するものとした。 ●審査（評価）の過程について 参加条件に基づき、参加表明書の確認を行った。 実施要領では、応募者が5者以内の場合は、一次審査を省略することとしていたため、応募者が1者であったことから一次審査を省略し、技術提案書等の提出要請を行った。 なお、応募者は、令和6年4月に設立した団体であることから、提出資料である「直近3か年の損益計算書又はこれに類する書類」、「直近3か年の貸借対照表又はこれに類する書類」は未提出となり、実施要領での評価基準のうち業務体制について、経営の健全性、資本金および経営能力については、評価を最低点とした。 二次審査については、以下の提案を求めた ・本事業に対する取り組み姿勢及び実施体制について、 ・呈茶及び茶の湯体験の具体的な取り組み ・運営シミュレーションプラン（人員配置など含む） ・その他、本事業の特性を踏まえた展開アイデア 前述の技術提案について、業務の実施体制、本事業に取り組む基本姿勢、提案の的確性・現実性の3項目から評価を行った。 採点は、評点方式とし、6名の審査委員で評価を行い、最優秀者を選定した。